

2025年9月30日

報道関係者各位

「ソーラージェーシング®」の自然共生サイト 第一期認定について

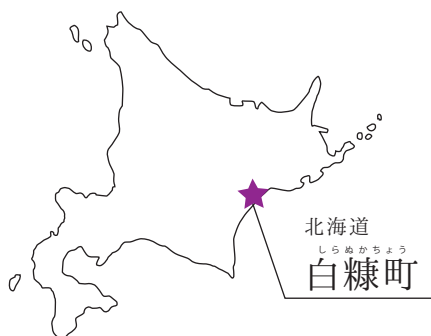
この度、環境省の自然共生サイト第一期認定者として、2025年9月16日(火)に株式会社町おこしエネルギーの「白糠ソーラージェーシング発電所」(北海道白糠町)敷地内で「釧路白糠溪畔林保全活動実施計画」が認定され、本日、9月30日に認定証が授与されましたことをご報告申し上げます。

太陽光発電所敷地内での「自然共生サイト」制度認定は、日本では初めてとなります。

2025年4月より施行された「生物多様性増進活動促進法」の認定新制度上では、再エネ業界全般でも初めての制度認定となります。

弊社では、30by30のロードマップを遵守して、自然共生、生物多様性、動物福祉に貢献しながら、遊休地(耕作放棄地・空き地・廃校跡地・未利用地・雑木林など)の利活用として、再生可能エネルギー自給率アップと食料自給率アップを進めておりますので、今後ともご指導をよろしくお願いいたします。

株式会社町おこしエネルギー
代表取締役会長兼社長 沼田 昭二



発電所の概要

発電所名	白糠ソーラージェーシング発電所
事業主体	白糠ソーラージェーシング
発電所所在地	北海道白糠郡白糠町庶路18-1
発電出力	9.575MW (AC) 17.248MW (DC)
想定年間発電量	約1572万kWh/年

※事業の概要は本件発表時点での計画であり、今後変更となる可能性があります。

【本件に関するお問い合わせ先】

事業開発部 岡本、正岡

Tel:079-424-5811

Mail:info@machiokoshi.co.jp



町おこしエネルギーHP



環境省「自然共生サイト」



自然共生サイト認定
30by30

認定番号:251008



環境省の「自然共生サイト」とは

■「民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域」を保護地域内外問わず「自然共生サイト」に認定。

■「自然共生サイト」に認定された区域のうち、保護地域との重複を除いた区域を「**OECM※**」として**国際データベースに登録**。

※「OECM」とは、Other Effective area-based Conservation Measuresの略で、「保護地域以外で生物多様性保全に資する地域」のことです。「自然共生サイト」とは、「民間の取組等によって生物多様性の保全に貢献するような管理がなされている区域」として国に認定された場所です。なお、令和7年4月から、自然共生サイトを法制化した新法・地域生物多様性増進法が施行されることに伴い、令和5、6年度に認定した自然共生サイトに加えて、地域生物多様性増進法に基づき認定された実施計画の実施区域も「自然共生サイト」となります。自然共生サイトのうち、保護地域との重複を除いた区域がOECMとして国際データベースに登録されます。

国内の太陽光発電所敷地内では、「自然共生サイト」に認定されている場所はなく、この度、弊社発電所が日本初！再エネ敷地内での認定事例※となりました。※弊社調べ